



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 タツタ電線株式会社

コード番号 5809 URL <http://www.tatsuta.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 政信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 総務部経理・財務担当部長 (氏名) 柴田 徹也

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,095	7.1	2,537	△17.4	2,682	△14.6	1,670	△12.2
25年3月期第2四半期	23,436	2.4	3,073	180.8	3,139	185.2	1,903	97.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,767百万円 (△6.2%) 25年3月期第2四半期 1,884百万円 (106.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.19	—
25年3月期第2四半期	29.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	39,808	30,853	77.5	483.67
25年3月期	38,668	29,533	76.4	462.98

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 30,853百万円 25年3月期 29,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	6.7	4,500	△19.4	4,550	△22.4	2,800	0.7	43.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	70,156,394 株	25年3月期	70,156,394 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	6,367,362 株	25年3月期	6,366,027 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	63,789,717 株	25年3月期2Q	63,793,946 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の打ち出した経済政策および日銀による積極的金融緩和策により、円高の是正、株式市場価格の上昇、民間設備投資の回復等が図られ、景気回復への期待感が膨らみました。その一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速、輸入品価格の上昇等国内景気を下振れさせる要因が出てきており、また、雇用・所得環境も具体的改善がみられる段階には至っていないなど、依然として先行き不透明感が拭えない状況となっております。

この間における我が国の銅電線需要量は、建設・電販向け需要は国内設備投資の回復もあって比較的堅調に推移したものの、自動車向けが減少し、電力向け需要も依然として低調なため、全体としては若干減少いたしました。電子材料分野については、スマートフォン向け需要は総じて好調ではあったものの、一部ハイエンドモデルについては伸び悩みがみられるなど、需要構造の変化が顕在化してきております。

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、このような環境下において引き続き効率的な生産・販売活動を推進するとともに、中長期的視点に立った事業全般にわたる競争力の強化のための各種施策を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期実績比7.1%増の250億9千5百万円となりましたが、営業利益は前年同四半期実績比17.4%減の25億3千7百万円、経常利益は前年同四半期実績比14.6%減の26億8千2百万円、四半期純利益は、前年同四半期実績比12.2%減の16億7千万円となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりであります。なお、各セグメント売上高の金額にはセグメント間取引を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をもって算定しております。

<電線・ケーブル事業>

電線ケーブルの売上高は、銅建値が前年同時期に比べ高めに推移したことに加え、電力向けの販売増等により、前年同四半期実績に対し6.6%増の137億8千3百万円となりました。営業利益については、これに各種事業構造改善によるコスト削減効果が加わり、前年同四半期比で5億8百万円改善の1億3千6百万円となりました。

<電子材料事業>

当事業の主要製品である機能性フィルム等の導電機能性材料の販売は、スマートフォンやタブレット端末向けの需要が総じて好調に推移する中、電子材料事業の売上高は前年同四半期実績比9.1%増の107億7百万円となりました。一方、営業利益については新拠点であるタツタテクニカルセンターの予定どおりの立上げとともに、将来を睨んだ各種事業開発活動を活発化させていることに伴う費用増等があり、前年同四半期実績比25.0%減の27億2千1百万円となりました。

<その他>

環境分析事業は増収、また機器システム事業の販売もほぼ前年並みの売上となりましたが、フォトエレクトロニクス事業分野の売上高が需要立ち上がりの遅れにより減少し、これを主因に、その他事業の売上高は、前年同四半期実績比11.5%減の6億1千6百万円、営業損益は前年同四半期実績比3千9百万円減少し、3千2百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、主に棚卸資産の増加および有形固定資産の増加により、短期貸付金の取り崩しの減少等あったものの、総資産は11億4千万円増加し、398億8百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加に対して、未払費用および未払法人税等の減少等により、1億7千9百万円減少し、89億5千5百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い、繰延ヘッジ損益による減少等があったものの、主に四半期純利益の計上により13億1千9百万円増加し、308億5千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、通期を見直した結果、銅価格差を主因に、2013年度の売上高は495億円（前回予想に比べ28億円増収）、営業利益45億円（同変更なし）、経常利益45億5千万円（同変更なし）、当期純利益28億円（同変更なし）を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,330	1,462
受取手形及び売掛金	12,934	13,106
製品	1,093	1,427
仕掛品	3,204	5,040
原材料及び貯蔵品	701	577
繰延税金資産	291	270
短期貸付金	7,426	5,457
その他	549	416
貸倒引当金	△26	△5
流動資産合計	27,503	27,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,200	4,686
機械装置及び運搬具（純額）	982	1,454
工具、器具及び備品（純額）	206	554
土地	2,923	2,923
建設仮勘定	2,851	301
有形固定資産合計	9,164	9,921
無形固定資産		
ソフトウェア	90	156
ソフトウェア仮勘定	8	3
施設利用権	5	5
その他	5	23
無形固定資産合計	110	188
投資その他の資産		
投資有価証券	493	564
長期前払費用	61	84
前払年金費用	1,019	1,023
繰延税金資産	230	200
その他	94	83
貸倒引当金	△10	△9
投資その他の資産合計	1,890	1,946
固定資産合計	11,165	12,056
資産合計	38,668	39,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,380	3,964
1年内返済予定の長期借入金	118	236
未払金	522	440
未払費用	1,176	971
未払法人税等	1,349	992
その他	271	177
流動負債合計	6,817	6,782
固定負債		
長期借入金	1,482	1,364
役員退職慰労引当金	42	35
退職給付引当金	92	68
環境対策引当金	177	122
製品保証引当金	10	10
事業構造改善引当金	300	290
資産除去債務	208	208
その他	2	74
固定負債合計	2,317	2,172
負債合計	9,134	8,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,536	4,536
利益剰余金	19,736	20,961
自己株式	△1,581	△1,583
株主資本合計	29,367	30,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	155
繰延ヘッジ損益	45	31
為替換算調整勘定	17	74
その他の包括利益累計額合計	165	262
純資産合計	29,533	30,853
負債純資産合計	38,668	39,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	23,436	25,095
売上原価	17,476	19,025
売上総利益	5,959	6,070
販売費及び一般管理費	2,886	3,532
営業利益	3,073	2,537
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	7	7
地役権設定益	11	—
貸倒引当金戻入額	48	22
環境安全対策引当金戻入額	—	42
為替差益	—	44
その他	59	67
営業外収益合計	131	188
営業外費用		
支払利息	3	4
貸貸費用	4	—
開業費償却	24	25
為替差損	17	—
その他	15	13
営業外費用合計	65	43
経常利益	3,139	2,682
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
ゴルフ会員権売却損	0	—
固定資産除却損	3	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益	3,129	2,682
法人税、住民税及び事業税	1,199	969
法人税等調整額	26	42
法人税等合計	1,226	1,011
少数株主損益調整前四半期純利益	1,903	1,670
四半期純利益	1,903	1,670

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,903	1,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	52
繰延ヘッジ損益	24	△13
為替換算調整勘定	5	57
その他の包括利益合計	△18	96
四半期包括利益	1,884	1,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,884	1,767
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,129	2,682
減価償却費	367	583
退職給付引当金の増減額(△は減少)	0	△23
前払年金費用の増減額(△は増加)	20	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△7
総合設立厚生年金基金引当金の増減額(△は減少)	37	—
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△96	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△58	△21
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△54
受取利息及び受取配当金	△12	△12
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	6	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	0	—
支払利息	3	4
固定資産売却損益(△は益)	△3	—
固定資産除却損	16	3
売上債権の増減額(△は増加)	△208	△171
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130	△2,044
その他の資産の増減額(△は増加)	△66	98
仕入債務の増減額(△は減少)	270	584
未払金の増減額(△は減少)	318	68
未払費用の増減額(△は減少)	△39	△204
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7	△11
その他の負債の増減額(△は減少)	29	△40
その他	△1	△0
小計	3,581	1,418
利息及び配当金の受取額	13	12
利息の支払額	△3	△5
法人税等の支払額	△869	△1,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,721	116
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△510	△1,411
有形固定資産の売却による収入	4	—
無形固定資産の取得による支出	△27	△111
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△2,705	1,969
ゴルフ会員権の売却による収入	4	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	8	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,227	468

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600	—
配当金の支払額	△255	△446
自己株式の処分による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	342	△447
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△158	131
現金及び現金同等物の期首残高	749	1,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	590	1,462

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,932	9,817	22,749	686	23,436	—	23,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	10	10	△10	—
計	12,932	9,817	22,749	696	23,446	△10	23,436
セグメント利益 又は損失(△)	△371	3,629	3,257	7	3,265	△191	3,073

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器システム製品事業、環境分析事業、光部品事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△191百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△196百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,783	10,707	24,490	604	25,095	—	25,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	11	11	△11	—
計	13,783	10,707	24,490	616	25,107	△11	25,095
セグメント利益 又は損失(△)	136	2,721	2,858	△32	2,826	△288	2,537

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器システム製品事業、環境分析事業、光部品事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△288百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 報告セグメントの変更等に関する事項
従来、報告セグメントとしておりました「新規事業」については、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より「その他」の区分に含めております。これは、事業推進組織の変更に伴い事業計画の見直しを行ったことによるものであります。
なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。